



[表紙写真] Gateway Tours / 関連記事 P8 会員さんこんにちは

CONTENTS

NEWS

第388回常議員会・第183回通常議員総会開催 ▶ P2

2023年度事業計画・予算 ▶ P3



苫小牧商工会議所
LINE公式アカウント

まずは
友だち
登録を♪

\\ここから登録/



第388回常議員会

苫小牧商工会議所は3月15日、経済センターで第388回常議員会を開催した。

報告事項として、6月に苫小牧で開催される全道商工会議所大会、スーパーマーケットトレードショー2023について、苫小牧市への商工業振興に関する要望書の提出について報告された。

協議事項では、2023年

度事業計画書(案)について、2023年度収支予算書(案)についてなど第183回通常議員総会提出議案を決めた。

議事終了後、北海道警察本部警備課より「経済安全保障」についての情報提供があり、企業の技術に関する情報が、海外へ流出する事例が増えていくことから、対策の必要性についての解説が行われた。参加者からは実際の事例や具体例について質問がなされた。

苫小牧商工会議所 第183回通常議員総会開催
2023年度 事業計画と予算を決議

発言者

苫小牧商工会議所は3月22日、第183回通常議員総会を開催し、新年度の事業計画ならびに予算など議案2件を原案通り承認した。

会議に先立ち宮本知治会頭はあいさつの中で、混迷を深める世界情勢と経済情勢など事業者を取り巻く厳しい環境について言及し、「事業の継続と雇用の維持に必死に取り組む事業者を後押しする」と述べた。

協議事項として、2023年度事業計画な

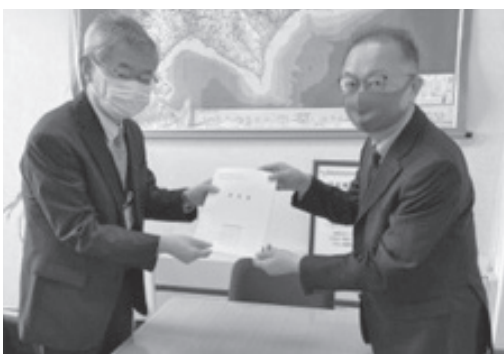


らびに収支予算を審議。スローガンを「頼られる商工会議所を目指して」とし、重点事業に「1. 政策提言・要望活動」、「2. グリーン社会の実現に向けたエネルギー・環境政策への対応」、「3. 駅前ビジョン・スマートシティ構想の推進」、「4. 社会経済活動の正常化に向けた伴走型支援」の4つを掲げた。収支予算については、一般会計ならびに特別会計5会計の総額5億7399万円を計上。支出においては、物価高騰の影響を見込みつつ経費節減に努めながら、全道商工会議所大会関連費用やDX事業促進によるシステム導入費などを盛り込んだ事業予算となっている。

胆振経済団体懇談会の
要望活動を実施

3月30日、東胆振経済懇談会による要望活動が行われ、北海道運輸局へ「北海道運輸局苫小牧運輸支局(仮称)の新設」、日本政策金融公庫へ「日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店への昇格」、「中小企業者に対する融資の円滑かつ弾力的取扱い」を求める要望書を手渡した。

東胆振経済懇談会は、同一経済圏における経済界が協調して共通する問題の解決を図ることを目的に、東胆振の1市4町の経済界(白老・安平・厚真・むかわ町商工会、苫小牧商工会議所)によって構成され、意見交換会や要望活動を行っている。

広報紙面
広告掲載のご案内

苫小牧商工会議所月刊広報紙「商工会議所・とまこまい」では、会員事業所の広告掲載をいたします。広報紙は、毎月約2,300の事業所等へ配布されます。事業所のPRにご活用下さい。

例えば



躍進する街づくり応援します
ななかまど工業株式会社

苫小牧市表町●丁目×番地◆号
TEL(0144)●●-◆△▼×

広告は1段
縦4cm×横18cmサイズで
11,000円(税込)から

お問い合わせ・お申込み 総務部 Tel.33-5454 / FAX.32-6058

苫小牧商工会議所 2023年度事業計画 2023年度事業基本方針 頼られる商工会議所を目指して

コロナウイルス感染症が2類から5類へと変更が検討され、長きにわたって我慢を強いられてきましたが、アフターコロナ時代がスタートしようとしています。

また、ロシアのウクライナ侵攻を発端とする資源・エネルギー価格の高騰、物価の上昇など事業者を取り巻く環境はより厳しさを増しています。が、逆境を変革のチャンスと捉え、以下の5つの事業に取り組んでまいります。

- I. 重点事業
 - II. 経営支援対策事業
 - III. 地域経済活性化事業
 - IV. 商工会議所運営事業
 - V. 特別事業
- 今回は重点事業に絞って説明します。
- I. 重点事業
 1. 政策提言・要望活動
- 社会基盤のより一層の充実を目指し、国、道、市等の関係機関に対する政策提言活動に取り組んでまいります。
- (1) 国・道・市等関係機関・

団体への提言・要望・陳情活動

- ① 市への「商工業振興に関する要望書」提出
- ② 広域連携による要望活動の強化
- ③ 北海道商工会議所連合会への要望

2. グリーン社会の実現に向けたエネルギー・環境政策への対応
- 世界的なカーボンニュートラルへの対応競争など、次世代社会の到来を見据え、苫小牧地域が変化に対応していくよう取り組んでまいります。
- ① 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会への参画
 - ② 再エネ・水素・運輸・データセンター専門部会の開催
 - ③ 二酸化炭素回収・利用・貯留(CCUS)事業実用

3. 駅前ビジョン・スマートシティ構想の推進

- 化への協力
- ③ エネルギー産業拠点形成への調査研究
 - ④ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた調査研究

- (2) データセンター誘致に関する事業の実施
- ① グローバルデータセンターの誘致推進
- ② 北海道ニュートピアデータセンター研究会への参画
- ③ 海底光ファイバーの陸揚げに関する情報収集
- ④ データセンターの運用に係る再生可能エネルギー施策の推進

- (3) 低廉な電力の安定供給、環境関連事業の推進
- ① 泊発電所の安全性確保を前提とした早期再稼働実現への協力
- (4) (新)中小企業のカーボンニュートラルへの理解促進と取り組みへの支援
- ① (新)GX(グリーン)トランスポーター(グリーン)の推進
- ② (新)企業のCO₂排出量見える化に向けた取組の推進

4. 社会経済活動の正常化に向けた伴走型支援
- アフターコロナにおける、資源・資材等の高騰、円安、物価高の影響下における社会経済活動正常化のため、事業者により添った支援策に取り組んでまいります。
- (1) チャレンジする事業者(創業予定者含む)に対する伴走型支援の強化
 - ① (新)小規模事業者持続化補助金等の各種補助金を活用した販路開拓支援
 - ② (新)創業支援の強化
 - (2) 事業継続・転換・再構築支援に向けた諸施策の展開
 - ① 相談体制・セミナーの拡充等による経営支援メニューの強化
 - ② アフターコロナにおける需要喚起支援

(単位：千円)

2023年度収支予算書総括表

会 計	収入			支出		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
一般会計	153,520	152,100	1,420	153,520	152,100	1,420
中小企業相談所特別会計	81,500	81,500	0	81,500	81,500	0
労働保険事務組合特別会計	9,340	9,650	▲310	9,340	9,650	▲310
共済制度特別会計	28,450	25,800	2,650	28,450	25,800	2,650
特定退職金共済制度特別会計	212,410	212,450	▲40	212,410	212,450	▲40
経済センター特別会計	88,770	163,500	▲74,730	88,770	163,500	▲74,730
合 計	573,990	645,000	▲71,010	573,990	645,000	▲71,010

話題の現場を探訪

「東開文化交流サロン」 に潜入しました！

【図書機能】と【福祉拠点機能】を兼ね備えた、苫小牧市の公共施設としては初の共生型地域福祉拠点である「東開文化交流サロン」。オープンから半年が経過した施設に広報担当者が潜入し、館長の池田圭吾さんから施設の紹介、取り組みと今後の目標についてお話を伺いました。



館長 池田 圭吾さん

東開文化交流サロンは どんなところ？

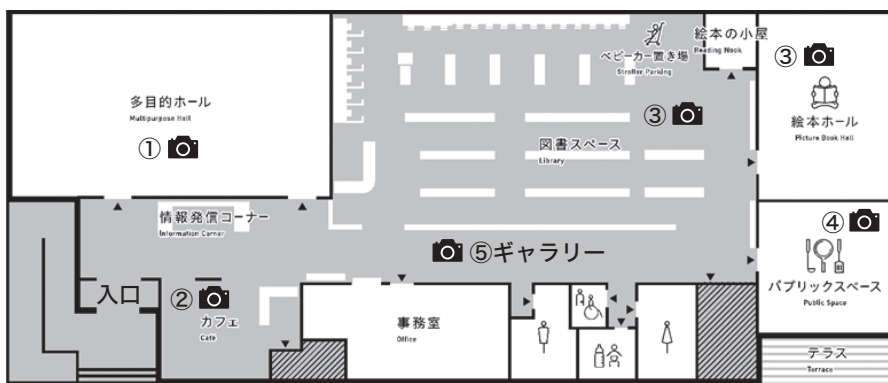
2022年12月にオープンした東開文化交流サロンは、東開町の住宅街に位置し、図書館であり、カフェでもありながら、福祉機能を有する公共施設である。「交流をデザインする」「人が文化を創る」「多様性が寛容を生む」をコンセプトに、共生型福祉の「社会福祉法人ゆうゆう」（当別町）と図書館運営を行う「(株)図書館流通センター」が共同で運営し、人と人とのつながりをつくる場所として重要な役割を担っている。館内にはコーディネーターや見守り支援員が常駐し、必要に応じて他機関と連携するなど、子どもから高齢者、悩みを抱える方まで誰もが安心して利用できる「居場所」になっている。

建物に入って正面には、100名程度収容できる多目的ホールがある。収納式のス

①多目的ホール

施設内に潜入しました!!

いる。また、カフェや図書スペースなどでは障がいのある方が就労するなど、あらゆる人のための地域福祉の拠点を目指している。



館内フロアマップ

②カフェスペース



建物を進むと次に目を引くのがカフェスペース「パーラー東開町2丁目」。札幌の有名店「パフェ佐藤」が監修したパフェと、ネルドリップコーヒーなどのドリンク類を提供していて、待ち合わせや打ち合わせの場として利用されている。公共施設と感じがなほいどおしゃやれな空間が広がり、コーヒーを片手に読書を楽しむ人やパフェを目当てに

ページを備えた本格的なホールで、説明会や会議のほかダンスサークル等の団体が利用しているという。利用予約が入っていない時には子どもたちの遊び場として開放しているため、取材時も多くの子・中学生が集まっていた。

建物を進むと次に目を引くのがカフェスペース「パーラー東開町2丁目」。札幌の有名店「パフェ佐藤」が監修したパフェと、ネルドリップコーヒーなどのドリンク類を提供していて、待ち合わせや打ち合わせの場として利用されている。公共施設と感じがなほいどおしゃやれな空間が広がり、コーヒーを片手に読書を楽しむ人やパフェを目当てに



訪れる人も。ドリンクやパ
フエはテークアウトすること
ができて、ドリンクは図書
コーナーへの持ち込みも可能
である。



③ 図書スペースと絵本ホール
建物の奥には図書と絵本の
ホールを構える。図書ホール
には約28,000冊を蔵書
する予定で、落ち着いた読書
スペースと個室の自習室があ
り、読書と勉強の場として利
用されている。
絵本ホールには約5,
000冊の絵本があり、紙芝
居のほか大型絵本や布絵本な
どの珍しい絵本も充実してお
り、親子で読み聞かせを楽し
む姿が見られた。



図書スペースと絵本ホール
にある本や雑誌、紙芝居は、
苫小牧市立中央図書館の「利
用力ード」で借りることがで
きる。
④ バブリックススペース
パブリックススペースは、20
人程度の少人数が利用できる
貸し出しスペースである。プ
ロジェクターが備え付けられ
ていて会議や打ち合わせに使
用されているほか、キッチン
やダイニングが完備されてい
るので、料理教室や女性向け
のサークルといった用途でも
利用されている。こちらも予
約がない時には開放されてお
り、取材時には子どもたちが
集まって宿題に取り組んでい
た。

開館から半年がたち、地域
の人たちが集う場となった同
施設。日中は高齢の方や小さ
な子どもを連れた子育て世代
の方には学校を終えた子ども
たちが来館していて、毎日さ
まざまな世代が行き交う「交
流拠点」になっている。
現在の利用者は東開町近辺
の住民が中心だというが、

地域になくってはならない
存在として



⑤ ギャラリー
通路の壁面は芸術作品の展
示を行う「ギャラリー」と
なっている。取材時は当麻町
の障がい者福祉事業所「かた
るべの森美術館」のアート作
品を展示していた。「多様な
表現と新たな価値観との出会
いの場所」として、今後もし
まざまな企画展を実施する計
画だ。

「もっと市内全域の人に施設
を知ってもらい、目的や用事
がなくても自由に立ち寄れる
施設を目指す」と池田館長は
話している。
子どもとお年寄りが一緒に
なってイベントの準備を行い、
定期的にワークショップや教
室、体験会を開催するなど、
現在進行形で「みんなと一緒
に地域になくってはならない施
設」を作っている最中である。
百聞は一見に如かず。一度訪
れてみてほしい。

アクセスマップ

営業時間：全館9:00~21:00
図書貸出9:00~17:00
カフェ9:00~17:00
(16:30ラストオーダー)

休館日：12/29~1/3
住所：苫小牧市東開町2-12-22
電話：事務室(代表) 84-7956
図書室 84-7958
カフェ 84-7957
FAX：55-3211
メール：tokaisalon@yu-yu.or.jp
HP：https://toukaisalon.jp/

施設情報

HP

製造業部会視察見学会 福島県内カーボンニュートラル関連施設の視察を実施

製造業部会（吉野晃崇部会長＝出光興産(株)北海道製油所副所長）は、3月9日から10日の2日間で視察見学会を実施し、カーボンニュートラル先進都市として注目を集める福島県内の施設見学を行った。正副会頭を含む部会メンバー14人が参加した。

1日目は石油資源開発(株)相馬LNG基地と福島天然ガス発電所の視察を行い、設備等について説明を受けた。2日目は浪江町に移動して、再生可能エネルギーを利用した世界最大級の水素製造装置を備えた「福島水素エネルギー研究

フィールド」を視察。同施設が行っている実証試験や普及への取り組みなど説明を受けた。

その後、會澤高圧コンクリート(株)（本社苫小牧市）と浪江町が協定を結んで建設を進めている研究開発と生産施設である「福島RDMセンター」の建設現場を車窓から見学した。

各視察場所では新たな設備や技



術に接し、さまざまな質問がされるなど、実りのある視察見学会となった。

新入会員懇談会開催 ～新入会員と会議所役員・議員が歓談～



苫小牧商工会議所は3月28日、グランドホテルニュー王子で「2022年度新入会員懇談会」を開催。2022年度の新入会員23社と、主催者側から宮本知治会頭以下、副会頭、会員活動委員会委員ら合わせて40人が出席した。

懇談会冒頭に石田副会頭は新入

会員に対して「商工会議所は経営相談をはじめ、さまざまな支援を行っている。積極的に商工会議所を利用してほしい」と歓迎のあいさつを行った。出席者全員がそれぞれの事業内容の説明など自己紹介を行い、時間いっぱいまで和やかに歓談して終了した。

第15回東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい 開催

1月30日から3月19日にかけて、「第15回東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい」がスタンプラリー形式で行われた。同フェアは苫小牧商工会議所食品飲食業部会（高橋憲司部会長＝(有)志のぶ代表取締役）が主管し、東胆振産食材のPRを目的に2007年より東胆振産食材を使った料理を楽しめる立食形式のイベントとして開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により第14回からスタンプラリー形式にて開催している。

2度目のスタンプラリーとなった今回は、市内39店舗が参加店として登録し、スペシャルフレンチディ

ナーの招待券や白老産和牛、厚真産米や苫小牧産の海鮮セットなど豪華景品が当たるプレゼント抽選を行った。

3月28日に高橋憲司実行委員長による抽選会が行われ、地元企業の協賛品も含めた計40本の景品がスタンプラリー参加者に届けられた。特賞であるスペシャルフレンチディナーチケットが当選した参加者からは「特賞の当選はとてうれしい。今回のスタンプラリーがきっかけで行ったことのない飲食店に行くことができた。ディナーもとても楽しみにしている」と喜びの声が聞かれた。



女性会 第40回技能祭出店 収益金の一部を苫小牧技能士協会へ寄付

苫小牧商工会議所女性会（成田富貴子会長＝カクサダクリーニング(株)常務取締役）は3月5日、第40回技能祭に出店し、野菜・果物の販売と会員が持ち寄った日用品などのバザーを行い、収益金の一部を苫小牧地区技能士協会（福森希志雄会長＝(株)福森工務店代表取締役オーナー）へ寄付した。

女性会はこれまで、女性会事業委員会が中心となっておでんやそ

ば・うどんなどの飲食品を技能祭で販売してきたが、新型コロナウイルスの影響により技能祭の中止が続いていたため4年ぶりの出店となった。

寄付金は3月29日に成田会長から福森会長へ手渡され、福森会長は「女性の技能士育成に役立てたい」と謝意を述べた。



ご利用ください 専門相談室 2023年5月の予定 事業経営に必要な専門的アドバイスは、商工会議所・中小企業相談所の専門相談員にご相談ください。事前予約が必要な場合がございますのでまずはご連絡ください。

法律相談
弁護士
岡田秀樹氏
[6月を予定]

登記相談
司法書士
上瀬戸拓也氏
【随時】

経営相談
中小企業診断士
岩佐秀明氏
[5/15(月)13:00-15:00]

労務相談
社会保険労務士
定蛇 萌氏
[6月を予定]

各種相談を希望される方

苫小牧商工会議所にTEL(予約手続き)

当日予約時間にお越しください

税務相談
税理士
別段 清氏
【常駐 10:00-16:00】

発明・特許相談
弁理士
内藤拓郎氏
[5/10(水)9:45-11:45]

許認可申請相談
行政書士
山口美津男氏
【随時(月・水・金)】

日本政策金融公庫中小企業事業部 …… 希望する方はお電話でお問い合わせください。
中小企業団体中央会 …… 毎週水曜日 10:00 - 12:00
北海道信用保証協会経営相談 …… 第1・第2木曜日 10:00 - 16:00
日本政策投資銀行 …… 希望する方はお電話でお問い合わせください。

予約・お問い合わせ
苫小牧商工会議所・地域振興課
TEL: 33-5454
※事業承継相談は地域振興課まで

新入会員のご紹介 2023年3月入会の事業所を紹介します。(敬称略、会員番号順)

事業所名	代表者名	住所	事業内容
カービューティープロアルファ CAR BEAUTY PRO ALPHA	濱田 久斗	拓勇東町	カーディテyling業
ティーエムラボ ティーエムlab	大下 珠緒	美原町	お惣菜販売

[苫小牧商工会議所] ダイレクトメールサービス

毎月発行する会議所広報にチラシ、パンフレットを同封します。
約2,300の会員事業所に貴社の商品やサービスをPRしてみませんか？
例えば、A4版1枚を2,300枚郵送すると…
84円×2,300件＝193,200円
このサービスを使うと22,000円で済みます。



折込料金(1回・税込)		
チラシ	B5・A4版	22,000円
	B4・A3版(2つ折)	33,000円
パンフレット(冊子等) 30g A4版まで		55,000円

ご利用に際しましては、一定の規約があります。詳細は苫小牧商工会議所総務課まで。☎33-5454



ここにしかない 特別な体験を

Gateway Tours



代表の専齊さん



ここにしかない自然



小さな子でも安心して楽しめる



団体にも対応

今回ご紹介する会員さんは美々川でカヌーガイドを行う「Gateway Tours」(ゲートウェイーツ)の代表の専齊健太さんにカヌーガイドとして創業に至った経緯と自社のサービス、今後の目標についてお話を伺いました。

小学生の頃の夢を叶えて創業

兵庫県出身の専齊さん。「大人になったら北海道に住みたい」と小学校の文集に書くほどアウトドアが好きで、北海道に強い憧れを持つ少年だったという。高校生の頃には夏休みなど長期休暇を利用して自転車で北海道中を1人で巡り、住み込みでカヌーやラフティングのバイトを行うなど、大好きな旅とアウトドアに熱中していた。卒業後は、道内さまざまな場所でもカヌーやツアーガイドの仕事をして経験を積み、2016年春から「Gateway Tours」を美々川でスタートした。

同社のツアーは「だれもが体験できる川下り」をコンセプトにしていて、1歳の子どもから高齢の方まで参加できるようにツアーが組まれている。小さな子どもや初めての人が安心してカヌーに乗れるように、水深が浅く、流れが緩やかな美々川をツアーの舞台に選んだ。また、新千歳空港に近く、ウトナイ湖に接した北海道らしい豊かな自然に強く惹かれ、「初めてのカヌー」と「北海道に来た人」の入り口になるという思いを込め、屋号を「Gateway Tours」にしたという。

自分たちの手で操舟

ツアーは、スタート地点で簡単な説明と練習を行ってから、約2キロの川をゆっくり下っていく。別のカヌーにガイドが乗って同行するため、自分たちで操舟する楽しさをしっかりと感じる事ができる。「カヌーは全員で協力する乗り物」と話すように、息を合わせなければまず進むことも難しく、くるくると回ってしまったら、茂みに突っ込んだりしてしまうのも醍醐味で、家族や仲間内でも力を合わせて川下りを満喫できる。

同社ツアー最大の特徴は、同行するガイドが川下り中の写真を撮るガイドが撮影し、その写真データをもらえることである。お客さんはパドルから手を放さず川下りに集中できることから大好評だ。また、ライフジャケットやパドルなどの道具が用意されており、乗り場もきれいに整備されているので足元の心配もなく、手ぶらで気軽に参加することができる。

カヌーを通じて地域の魅力を発信

美々川のツアーでは、ウトナイ湖に立ち寄るマガンやハクチョウを見る事ができ、7月下旬〜秋にかけては、ベニザケが遡上するのを舟の上から見る事ができるなど、美々川ならではの自然と触れ合うことができる。(※シーズンの水量によって見られない場合もあります)

また、かつては東西蝦夷地を結ぶ重要な交通路として、ユウフツ

取材を通して感じたこと

カヌーの楽しさや奥深さ、美々川の魅力について、目を輝かせて語る専齊さんから話を聞くと、すぐにでもカヌーに乗りたい気持ちになりました。ツアーは個人だけでなく小学校の体験授業や企業研修にも利用されていて、80名を超える団体の対応を行ったこともあるといいます。花の便りが聞こえるこれからの季節、カヌーに乗って日常とは違った風景に触れてみるのはいかがでしょうか。ツアーへの申込みは弊社ホームページから行うのがスムーズです！！



アクセスマップ
【集合場所】〒059-1365 苫小牧市植苗 美々川タップコップ親水公園 ※カーナビでは表示されない場合があります。スマートフォンでのグーグルマップアプリがおすすめです。

越えの舞台にもなった美々川。地元の人でも詳しく知らない人も多いが、自身も博物館や勇払資料館で勉強し、ガイド中に説明している。当時丸木舟が通った「いにしへの道」をカヌーで下りながら説明することで、「興味深い」や「感慨深い」など、反応がとて良かったという。

「この地域の自然や歴史をもっと多くの人に全身で感じてもらいたい。」専齊さんの舟は次なる目標に向けて漕ぎ出したばかりだ。